

地域社会に必要なとされ、地域と共に成長できる業界を目指して

長崎県電気工事業工業組合

理事長 小畑 和男



新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはお揃いで健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は当組合の諸事業に對しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、依然として全ての物価高騰が続く、一部資材には納期遅れが発生するなど、経営環境が厳しさを増す中でありましたが、本年も働き方改革と賃金アップ等時代に合った高度な雇用形態を作りながら、未来ある明るい一年にしたいと思っています。

さて、私共の長崎県電気工事業工業組合も「信頼される町の電気ドクター」として、再生可能エネルギー、安全安

心及び省エネに配慮した電気設備工事に最新の情報、新商品の知識等、お客様の立場に沿ったきめ細やかな提案をし、地域社会に必要なとされ、地域と共に成長できる業界を目指したいと考えています。その為にも今年もより一層、行政機関を始め関係諸団体との連携をさらに強化し情報交換等を行い、ライフラインに関連する組織として、県下6支部、316社の組織力を最大限に活かしていきたいと考えています。

そして、引き続き女性の活躍推進と後継者の育成や若手入職者の確保・各種講習会等の実施と共に、青年部に対する活動支援を強化していきま

すので、皆様方の引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びになりますが、私ども電気工事業界にとりましても明るい年になる事を願い、併せて本年が皆様にとりましても実り多い年となります事を心から祈念申し上げて、年頭のご挨拶と致します。

解体はまちづくりの出発点

一般社団法人長崎県解体工事業協会

会長理事 池田 正喜



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

建設業界が深刻な担い手不足やインフラ老朽化といった課題に直面する中、私たち解体業界も大きな転換点を迎えています。こうした状況を受け私は近年、空き家対策や地域の再生に向けた解体の役割を強調してきました。今年もその延長線上に立ち、さらに前進した取り組みを展開していきたいと考えています。

昨年10月に発足した高市政権下では、防衛関連をはじめ新たな分野での公共事業が活発化する兆しが見えています。業界としても、受け身ではなく元請けとして主体的に仕事を生み出していく姿勢が求められます。とりわけ空き家対策については、個々の建物だけでなく、面的なまちづくりの視点から、壊すべきものは壊し、活かせるものは活かす。解体は「まちづくりの出発点」であるとの認識の下、多くの関係者と連携した取り組みを進めていきます。

こうした取り組みは、適正な利益や給与水準の確保に繋がり、若い世代にも安心して働いてもらえる業界づくりに直結します。手に職をつける意義、モノづくりの素晴らしさ、そして建設業界の誇りを積極的に発信し、「長崎で働きたい」「解体業界で頑張りたい」と思ってもらえる環境を整えていく所存です。

また昨年は、協会のホームページを刷新。会員への情報提供を充実していきます。さまざまなコンテンツを提供できる基盤は整えられたと思っていますので、今後、若者や一般の方に解体業の魅力を伝える発信拠点として成長していくことを期待しています。

結びに、本年が皆様にとりまして希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

将来の飛躍のために、信念をもって力を蓄える年

協同組合長崎県鉄構工業会

理事長 岩永 洋尚



ご高配賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界情勢は、米国のトランプ政権による追加関税が国際貿易を揺るがし、各国が供給網の再編を迫られる一方、生成AIや半導体投資が成長を下支えしました。また、ウクライナ侵攻や中東紛争など地政学リスクは依然高く、

謹んで新年を言祝ぎ白し上げます。

旧年中は、当組合の活動に

サイバー攻撃の激化も国際社会の不安定要因となっており、世界経済はIMF予測で成長率約3%と底堅さを保つものの、分断と不確実性が強まりました。

日本経済は、実質GDP成長率+1%前後と緩やかな回復基調を維持し、賃金改善やAI関連投資、インバウンド需要が消費と産業を支えた一方、米国関税や中国経済の減速が輸出に影響し、企業収益の先行きは不透明となり、人口減少と高齢化という構造的課題を抱えつつ、金融政策の舵取りが今後の安定に大きく関わる局面となりました。

当業界では、急激な物価上

昇による建設予算との乖離やゼネコンを含む建設業界全体での人手不足もあり、25年度の推定鉄骨需要量は350万ト程度となる公算が高く、3年連続で大台の400万ト割れとなる見込みとなつています。さらに、労働時間の制限による工事の消化能力や対応能力の不足が建設業界全体としての課題となっており、厳しい環境が続いていますが、当業界は一致団結してワンチームとなり、持てる力を発揮できるように将来の飛躍のために今は力を蓄えるべき時でもあると考えています。

当会としましては、人が集まる魅力的な業界を確立する

結びに、皆様のますますのご発展とご健勝を祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。